

令和4年度総務委員会活動報告

1. 会議等の開催状況

第1回委員会	令和4年10月14日(金) オンライン+東京大学附属図書館3階中会議室
第2回委員会	令和5年3月6日(月) オンライン+東京大学附属図書館3階中会議室

メールによる審議

- ・ 7月15日発 7月21日承認
大学設置基準改正に関するパブリックコメントへの意見書の承認
- ・ 7月22日発 8月1日承認
令和4年度総務委員会事業計画の承認
- ・ 7月26日発 8月1日承認
国立大学図書館協会シンポジウムの実施要項・プログラム案の承認
- ・ 11月4日発 11月11日承認
令和4年度協会賞専門委員会委員の委嘱の承認
- ・ 1月25日発 1月31日承認
協会ウェブサイトの改修(委員会への一部ページの編集権限付与等)の承認

2. 活動内容

(1) 大学設置基準改正に関するパブリックコメントへの対応

7月に、大学設置基準等の一部を改正する省令案に関するパブリックコメント(意見公募手続)の受付が開始された。協会としてパブリックコメントを提出すべきとの意見があり、案を作成した。その後、理事会でメール審議し、案を修正の上、パブリックコメントを提出した。

(2) 令和4年度国立大学図書館協会シンポジウムの開催

シンポジウムの実施要項・プログラムの案を作成し、理事会へ上程した。その後、理事会でメール審議し、シンポジウムの開催を決定した。

シンポジウム「大学図書館はどこへ向かう? : 変えるべきこと、継承していくこと」は9月28日(水)にZoomウェビナーと東京大学附属図書館3階大会議室でハイブリッド開催し、予備としてYouTube Liveで同時配信した。Zoomウェビナー500アクセス、YouTube Live139アクセス、現地参加32名の参加があった。

(3) 第70回総会の開催方法の検討

第69回総会の参加者アンケートをもとに、意見交換を行った。その上で、第70回総会は集合開催を基本としてオンライン配信を併用することを前提に準備を進めることとし、プログラムや経費を検討し、その結果を理事会へ上程した。

(4) ビジョン2025 重点領域2(場の提供)の企画の実施

重点領域2の推進のため、総務委員会と人材委員会で担当者グループを設置し、今後の方策を検討した。7月に『「知の創出:新たな知を紡ぐ<場>の提供」に係る取り組み』の募集を実施し、自薦34件、他薦13件の応募があった。このうち6件の事例について、担当者グループが該当館の担当者へインタビューを行い、詳細を協会ウェブサイトに掲載した。

引き続き各事例の詳細を掲載していくとともに、企画の更なる展開を検討する。

(5) 令和 5 年度国立大学図書館協会賞

10 月 31 日を期限として令和 5 年度協会賞を募集し、6 件の応募があった。委員会設置要項 3(2)に基づき協会賞専門委員会を設置し、また協会賞専門委員会要項第 4 条により北海道大学附属図書館の鈴木秀樹事務部長を委員長に指名し、同専門委員会において選考を行った。

同専門委員会から選考結果の報告を受け、総務委員会での協議により選考結果を了承し、春季理事会に報告することになった。

(6) 外部サーバの導入

「災害等が発生した場合の対応について(申し合わせ)」に基づき、事務局が被災しても必要なファイルが入手できるように外部サーバの Dropbox を契約し、災害対策拠点での運用を開始した。

(7) 協会ウェブサイトの検討

秋季理事会でのシステム委員会からの提案を契機に、他委員会の意見も確認し、ウェブサイトの充実を図った。今後も引き続き検討する予定である。

3. 委員構成

凡例 ○:令和 5 年 3 月 31 日まで
●:令和 5 年 4 月 1 日から

委員長:	坂井修一	東京大学附属図書館長
委員:	城恭子	北海道大学附属図書館管理課雑誌受入担当係長
	小陳左和子	東北大学附属図書館事務部長○
	佐藤初美	東北大学附属図書館事務部長●
	松土真由美	茨城大学図書館学術情報課課長補佐
	熊渕智行	筑波大学学術情報部長
	竹内比呂也	千葉大学附属図書館長
	木下聡	東京大学附属図書館事務部長○
	大山努	東京大学附属図書館事務部長●
	成澤めぐみ	信州大学附属図書館管理課長
	大藪千穂	岐阜大学図書館長
	富岡達治	京都大学附属図書館学術支援課長○
	赤澤久弥	大阪大学附属図書館箕面図書館課長○
	〃	京都大学附属図書館利用支援課長●
	星子奈美	九州大学附属図書館学術サポート課学習・研究支援係長
事務局:	久保田壮活	東京大学附属図書館総務課長
	近藤真智子	東京大学附属図書館総務課企画渉外チーム上席係長○
	小川夏代子	東京大学附属図書館総務課企画渉外チーム係長●